

佐賀県多久市における蓄電所の設置について

テラスエナジー株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：稲角 秀幸、以下「テラスエナジー」）は、佐賀県多久市において、出力規模約 10,000kW、設備容量約 34,000kWh の系統用蓄電池（蓄電所）「テラスエナジー東多久エナジーストレージ」（以下「本案件」）を設置します※。蓄電池等の設置工事は完了しており、その他工事等を経て 2026 年下半期の運転開始を目指しています。

再生可能エネルギー（以下「再エネ」）の導入が進む中、九州をはじめ多くの地域で電力の需給バランスを維持するため再エネ電源の発電を抑制する出力制御が実施されており、余剰となる再エネ電力の有効活用や調整力の確保が課題となっています。こうした中、テラスエナジーは、電力供給における調整力を提供する役割をもつ系統用蓄電池（蓄電所）の設置を進めています。第 1 号案件として、長崎県長崎市における蓄電所「テラスエナジー長崎香焼エナジーストレージ」の運転を 2023 年 10 月 26 日に開始しました。

続く本案件においても、電力供給量に余裕がある時間帯に蓄電池へ充電。充電した電力を、需給バランスと市場動向に応じ、日本卸電力取引所、容量市場および需給調整市場から、適切な放電先に供給する蓄電池マルチユース事業を行います。蓄電池の運用には、自社開発の総合 VPP プラットフォームサービス「ReEra（リエラ）」を活用し、AI を用いた蓄電池のマルチユース制御を行う予定です。

本事業を通じて、テラスエナジーは、電力供給の安定化へ寄与することで、再エネのさらなる普及促進を目指してまいります。

※ 資源エネルギー庁「令和 4 年度補正 再生可能エネルギー導入拡大に資する分散型エネルギーリソース導入支援事業費補助金（系統用蓄電システム・水電解装置導入支援事業）」に採択

■蓄電所「テラスエナジー東多久エナジーストレージ」の概要

所在地	佐賀県多久市東多久町
出力規模	約 10,000kW
蓄電容量（初年度）	約 34,000kWh
運転期間（予定）	20 年間（2026 年～2045 年）
蓄電池種別	リチウムイオン電池
運転開始時期（予定）	2026 年下半期

■蓄電池等の設置工事が完了した「テラスエナジー東多久エネルギーストレージ」写真

